

第五次総合計画後期基本計画策定 第4回自治経営分科会 議事概要

1 日 時 令和3（2021）年6月24日（木） 午後4時から午後5時50分まで

2 場 所 柏崎市役所 多目的室

3 出席者

(1) 委 員 大石友子会長、間島博英副会長、小柳智子委員、高橋一生委員
遠山靖大委員、山崎厚委員

(2) 庁 内 財務部長、議会事務局長、人権啓発・男女共同参画室長、総務課長、人事課長、
企画政策課長、財政管理課長、市民活動支援課長、文化・生涯学習課長、
元気発信課長、子育て支援課長

(3) 事務局 企画政策課企画係員

4 会議資料

【事前配布】

資料1 令和3（2021）年度 柏崎市第五次総合計画進行管理報告書（案）
（令和2年（2020）年度実績分）～第6章～

資料2 柏崎市第五次総合計画基本計画 主要施策の基本方向一覧

●第五次総合計画基本構想・前期基本計画（冊子）

【当日配布】

資料3 第4回分科会席次表

5 会議概要

進行管理報告書の構成と評価方法について、事務局が説明した後、主要施策ごとに、各担当課長が「主な取組と成果」「課題と今後の展開」について説明し、質疑・応答を行った。

発 言 者	発 言 概 要
第1節 主要施策1 平和に関する意識啓発を進める	
副 会 長	今日の趣旨はどういうことか。
事 務 局	昨年度の評価であり、昨年度実施したこと、およびその評価と課題を示している。 後期計画にどうかしていけばよいかなどについてご意見を伺いたい。
会 長	という趣旨だが、昨年度は平和に対する意識啓発でもコロナの影響があった。
第1節 主要施策2 人権を尊重した社会づくりを進める	
委 員	セクハラ、パワーハラスメントの研修について、市内企業に向けて何かしているか。
人権啓発・男女共同参画室長	来月に、ハッピーパートナー企業等を対象にセミナーを実施する予定であり、現在、案内を出して参加を受け付けている。事業主や総務、人事などの管理部署担当を対象としている。
委 員	市の審議会等の女性登用率が令和2年34.4%から令和3年目標が40.0%と増えているがその理由は。
人権啓発・男女共同参画室長	今年度1つの審議会が終了し、新たに2つの審議会が立ち上がった。その審議会において女性の割合が高かったこと、また、任期を終了し新たな委員において女性が多かったことなどから、高くなっている。
委 員	DVに関して柏崎特有の傾向はあるか。
子育て支援課長	周辺市町村の情報が入ってこないため比較できず、柏崎特有のものが掴めない

が、言葉による精神的なDVが増えて来たという印象がある。

委 員 女性から男性へのDVもあり、傾向として出てきづらいということがある。

子育て支援課長 男性へのDVは増えている感じがする。男性が離婚されるというケースも出ている。

委 員 男性はメンツがあるので表に出にくいと思われるが、男性への働きかけはしているか。

子育て支援課長 男性へはしていない。女性相談ということで実施している。

委 員 男性へも働きかけをしてほしい。

総務課長 無料法律相談は何回でもできるのか。

総務課長 同一の方が相談されるのは何回でも構わないが、1つの案件に関しては1回までである。

委 員 法テラスなどへの利用につないでいくということはあるのか。

総務課長 法テラスや社会福祉協議会の無料相談を紹介している。

委 員 人権の関係で、学校の中でのいじめについて対応しているか。

総務課長 学校のことは教育委員会が主に取り組んでおり、講師選定等で連携して対応している。

第2節 主要施策1 市民力が発揮できる環境を充実させる

委 員 ラインの開設はいつ頃になるか。

元気発信課長 今年の2、3月頃にラインが問題となった。5月半ば過ぎに国から指針が示され、利便性の高いアプリを排除すべきではないこと、個人情報取扱いに留意することとなっている。8、9月頃に公開できるのではないかと考えているが、環境が整い次第ということになる。

委 員 フェイスブックなど既存のSNSとラインの違いはあるのか。

元気発信課長 どちらもプッシュ型であるが、防災、防犯、子育て検診をラインで発信する予定である。個人情報の取得にあたらぬ属性情報により、受け手に合わせたよりきめ細かい情報発信が可能なこと、これが、ツイッター、ユーチューブ、フェイスブックとの違いである。

委 員 ラインのフォローの目標値は持っているか。

元気発信課長 目標値は持っていない。フォローが増えれば良いというものではない。それを目標にせず、欲しい方に欲しい情報が行き渡るようにするのが最も重要となる。登録者数を増やすことを目的とせず、きめ細かい情報発信をしていきたい。

委 員 SNSを使った情報発信をしている頻度はどの程度か。

元気発信課長 元気発信課では、フェイスブック、ツイッターともに1日最低1回は投稿することとしている。

委 員 インスタグラムはどういったものを掲載しているのか。

元気発信課長 インスタグラムは、その性格上、写真投稿が主になるため、更新頻度が少なくなってしまう。テキストで伝えるフェイスブック、ツイッターとは異なる。なお、フェイスブック、ツイッターにも写真は掲載している。インスタグラムは、まちなかななどの写真だけでは限界があるため、グルメ関係などを入れられると良いと考えている。行政では難しい面もあるが、今後も力を入れていきたい。

委 員 そうなるとマンパワーが必要だ。

元気発信課長 マンパワーしかない。情報発信係でルールを持って取り組んでおり、私生活でも常にアンテナを張りながら、情報発信している。

委 員 発信する情報内容は誰かがチェックするのか。

元気発信課長 チェック体制はあり、お互いにチェックしあっている。

委 員 「市長への手紙」は多く寄せられているが、市長は全てに目を通すのか。

- 総務課長 「担当課の回答希望」とあるものは、各課で判断している。手紙の送付者が市長からの返信を希望する場合には、市長が全てに目を通し、回答内容の確認もしている。
- 委員 リーダー塾の塾生が減少しているのはどういう理由か。
- 企画政策課長 期間が長いとか、リーダーという名前が重荷になっているといった話を聞く。10年近く経過している中で、求める側、受講する側にとっても、リーダーに対する意識が変わってきている。
- 委員 今後どうするのか。
- 企画政策課長 現在、5期の開塾準備をしている。期間を1年に短縮して実施する。あわせて、第6期のあり方を検討することとしている。
- 委員 始まった頃は、地域へ還元し、活性化を目指すためということがあったが、今は変わってきた。リーダー塾卒業後で起業しても地域とのつながりが薄れてきており、良い悪いではないが、見直す時期か難しいところだ。
- 委員 おそらく減少している原因は、主に活躍されていた人が卒業し、次に続く新たな人が出てこないからだと思う。門戸を広げれば数は確保できるのではないか。
- 委員 リーダー塾の応募要件はなにか。
- 企画政策課長 市内に居住または勤務していて、20代後半から40歳くらいの方である。
- 委員 肩書の要件はないか。企業内におけるポジションごとに絞ったやり方が考えられるのではないか。
- 企画政策課長 組織に属していることが条件となっていない。個人で参加できる。リーダーという言葉が重いという意見もある。これまでの塾の運営からステップアップが求められているのかもしれない。必ずしも企業におけるリーダー養成をしようというのではなく、地域におけるリーダーというものもあり、特段の条件はない。
- 委員 これまで卒業された人で、どのような勉強をしてきたのか、課題に取り組みされたのか、公表されているものはあるか。
- 企画政策課長 柏崎リーダー塾のホームページがある。ここで閲覧できる。

第2節 主要施策2 地域力が発揮できる環境を充実させる

- 委員 地域のつながりで地域力向上を目指しているが、年々、コミセンに求められるものが変わってきている。以前は生涯教育の活動の場であったものが、今は生活の安全安心の拠点となってきている。災害が発生した場合の集まりの場になり、普段、人々が集まるというニーズも下がってきた。生活スタイルの変化とともに、情報が広まるようになり、地域から出て自由に動こうということが重視されてきている。このため、コミセンのあり方を考える時期となっている。30あるコミセンについて見直しとなり、統合は難しいことだと思うが、考えていかなければならない。
- 会長 役割が変わってきたということだ。
- 委員 市街地と郊外では住民ニーズが異なり、格差が生じていると感じる。コミセンに対する地域ニーズが変わってきている。日々、共に活動しているから非常時に対応できるのであって、日々のつながりが有事にいかされてくる。そこを若い世代に理解してもらうにはどうするかも考えなくてはいけない。
- 委員 地域おこし協力隊には報酬が発生するのか。
- 市民活動支援課長 市の職員として採用し、市がサラリーを払っている。
- 委員 民間資金を活用した支援とあるが、民間資金とはなにか。
- 市民活動支援課長 ファンドレイジングなどで集めることが想定される。市の補助による活動から自ら資金を集めていくよう、組織を育成することとしている。
- 委員 幼い頃、コミセンは体育館があるイメージだった。大人になって、コミセンは距

離が遠いこともあるが、住民としてみるとコミセンより町内会だ。町内会の上にコミセンがある図式だ。コミセンの役割を一度棚卸して、地域の特性に応じてそれぞれ考えたほうが良い。市民目線で見ると、内輪の集まりで外の人が入りにくく、何か意見を言うにつぶされるといったイメージがあるため、このあたりを解決しつつ、業務分析を行い、課題を抽出して取り組むことが必要だ。

委員 まちからについて長岡の人から紹介を頼まれたことがある。柏崎市にとってはどういう存在か、市と一体なものなのか。

市民活動支援課長 まちからは市の施設である。有名になったのは指定管理者として施設運営しているNPO法人aisaだと思う。まちからは、やる気のある人達の集まりで、頼りになり、まちづくりには欠かせない施設である。

委員 市がアドバイスすることはあるのか。

市民活動支援課長 むしろアドバイスを受けることもある。

委員 まちからは、地域づくりに支援をする組織と捉えてよいか。

市民活動支援課長 そのとおり。

委員 コミセンの職員に対して、まちからのノウハウを伝授してもらえるのか。コミセンに対する市民活動支援課とまちからの立ち位置がよくわからない。

市民活動支援課長 コミセンの職員もまちからの力を利用してもらえればよいと考えている。

委員 コミュニティのあり方、見直しについて、まちからが市内全域に意見をもらえるようになるとよい。地域づくりをどこがリードしていくかを明確にするのが良いかと思うが、別途相談させて欲しい。

会長 そのあたりのことは協力・連携していければいいと思う。

第3節 主要施策1 自治機能を強化する

委員 職員育成で民間の感覚を学ぶことはあるのか。

人事課長 多様なニーズに対応していく必要があるため、そういう視点も必要だと思っており、新人研修では市内法人で実地体験する機会がある。また、柏崎リーダー塾にも男女各1名を参加させている。取組ではないが、市長は常日頃、職員は地域行事に参加するように言っており、そういうことも必要だと考えている。

委員 外へ出ていくことは必要だ。他自治体と交流することはないのか。

人事課長 今現在、4人派遣している。資源エネルギー庁、原子力規制庁、復興関係で福島県の大葉町などである。市だけでは得られない知見が身につくものと考えている。

委員 女性管理職の割合が低いが、取組はどうなっているか。

人事課長 管理職では10%に満たない状況だ。課長代理、係長に占める女性の割合が徐々に高まり30%に近づいている。この層が厚くなると将来、幹部に占める割合が高くなると思われる。5年後、10年後を見据えて取り組んでいく。

会長 中長期で女性管理職を育成する研修などが欲しい。
次の説明をお願いする。

第3節 主要施策2 健全な財政を堅持する・主要施策3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する

－資料に基づき説明（3節2 健全な財政を堅持する）。

説明者：財政管理課長

会長 続けて主要施策3も説明されたい。

－資料に基づき説明（3節3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する）

説明者：財政管理課長

委員 人口減少で公共施設の見直し・統合を進めるということだが、人数が減ったからなくすという観点だけでなく、同じサービスを受けられるよう進めてほしい。また、公共施設の機能はなくなったが、建物は放置されていることがある。そうな

- ると、維持管理が必要となり、地域に頼らざるを得なくなる状況に陥ることが多々ある。解決策は見いだせないが、地域に丸投げにはしないようにしてほしい。
- 財政管理課長 人数が減ったという単純なことで検討を進めるものではない。人数は一つの指標にはなるが、地域の声を聴きながら検討していく。また、建物の取り壊しは財政状況が許す範囲で進めていきたい。
- 会長 全体を通じて何かあるか。
- 委員 女性管理職は対象になる人が少ないと言われる。育休があるため経験が遅れてしまうことから、逆に早めに経験を積ませるようにして、育休を補うようにしている民間企業もある。
- 会長 民間では、女性の管理職を増やすため、長期的な計画に基づいて取り組んでいる。目標値をたてて計画をつくっていただきたい。

6 その他

- 今後の開催日時 第5回 7月29日（木）10時～
第6回 8月23日（月）10時～